

新年おめでとうございます

○ 巳年は「復活と再生の象徴」というへびのイメージから「新しいことが始まる年」になると言われており、「成長」や「変革」の年というイメージもあるようです。気持ちも新たに良い年のスタートとしたいものです。

○ 当倶楽部も設立して本年3月に丸19年となり、これからも激動の世の中に後れを取ることなく、自ら「明るい変革」を起こしていく位の気概を持ち続けたいと思います。



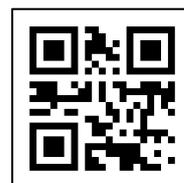
大鳥大社 令和七年乙巳歳 (大絵馬)

< 年始の業務スタートについて >

・新年は1月7日(火)から予定しており、よろしくお願い致します。

< 1月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 1月号
- ② ビープラッツプレス 最新号
- ③ 年会費納入のお願い (該当者には別途郵送の予定です。)



明るいシステム
倶楽部
ホームページ

< 1月の活動予定 >

1/4(土)	気楽な ZOOM サロン(49)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00~21:30
1/10(金)	「輝く未来の宝探し」(6)	明るい新聞からの注目企業の発掘	20:00~21:30
1/22(水)	役員会議(54)	「明るいセミナー」の今後について	14:00~15:00
1/22(水)	明るいシステム検討会議(37)	「明るいシステム」の整理・分析	15:20~16:20

AKS 市民大学 (ZOOM 形式)

1/08(水)	菊池教室(48)	感性を育む和学講座	20:00~21:30
1/25(土)	宮崎教室(52)	「言葉の力で問題を解決！」	20:00~21:30
1/28(火)	柴原・松居教室(41)	「みんなで考える明るい職場」	20:00~21:30

◆西国三十三所札所巡り旅 (29)

西国 番外札所 花山院

東光山 花山院菩提寺 (兵庫県三田市)

本尊：薬師瑠璃光如来

明るいシステム倶楽部会員：阿久根芳臣

行程：大阪市内から 54 k m (阪高池田線～中国道(西宮北 IC)～国道 176 号～県道 37 号)

今回の行程表記には大阪市内からの距離を記しているが実際は 25 番札所 播州清水寺から向かったのが 24 k m、45 分で到着した。

播州清水寺からの道すがら里へ下りてから県道 311 号を東に進むと直ぐに「みつばち牧場」(河合養蜂場)があり、かわいい看板に誘われて店内へ入ってみた。

お店は狭いが天然はちみつ、ローヤルゼリー、プロポリスなど種類は豊富で店の“看板娘”の説明が上手で、ついつい買ってしまった(妻が)。スーパーの商品で十分だと言う方には少し高価だが「桜の蜂蜜」などは桜の香りがして中々いいもので気に入った。

さて、ここ花山院は“播州清水寺”と同じくインド渡来の法道仙人が開いたとされる寺。

京都山科の元慶寺^{がんけいじ}で出家した花山^{かざん}法王が各地を巡礼中、兵庫・三田山中を気に入りに、三十路前から四十一歳で没するまで隠棲した処だ。本堂はかなり質素で境内も広くはないが南西方向にかけては山々や湖の景色が広がり眺めがよく、気の休まる確かにいいところだ。

山麓^{にんじ}の集落は「尼寺」で、法王を慕った女官十一人が住まいしたという。

参道ふもとの花山院御廟所石碑のある交差点には手打ち蕎麦処「花山」があり、コシのある細麺がすばらしく旨い。全国でその時一番良い蕎麦粉を使った二人蕎麦でいただける。最近では珍しく注文が入ってからコネてくれる蕎麦がき(¥500)も堪能でき、そば打ち教室もやっているようだ。店内隅には今まで見たことのないような大きくて古そうな大型スピーカーがたくさん配置されておりモダンジャズの同好会的な集まりもやっているようだ。巡礼旅が終わってもここの「蕎麦がき」を食べに又、来たいものだ。帰りには30年ぐらい振りに神戸市北区の「山垣畜産」も帰宅ルート上にあるので寄ってみた。随分と店や駐車場も拡張して店内も東南アジア系の人たちだが工場のようにたくさん働いている。名物と云うべき高級ステーキも相変わらずリーズナブルな値段で提供していた。今日は帰ったら分厚いステーキをジュージューに頂くとしよう。(花山院の詳細はHPをポチっと)

山上駐車場横の仁王門



本堂 (花山法王殿)



南西側の山々 (有馬富士)



多謝！深謝！感謝！ 本年もよろしく！

明るいシステム倶楽部会員 黒田 能弘（くろだ・よしひろ）

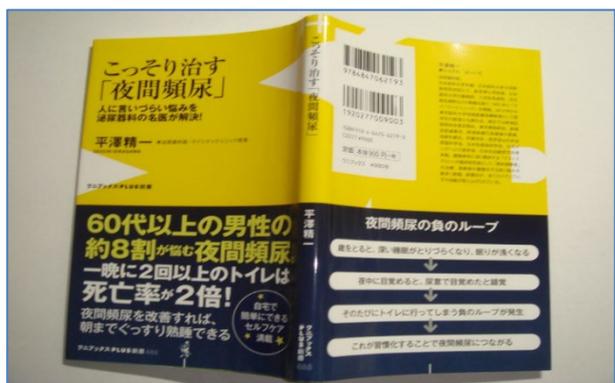
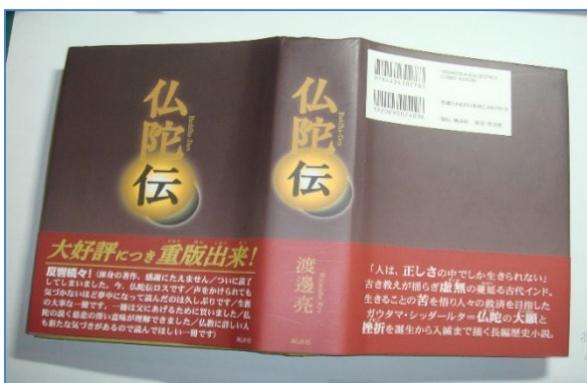
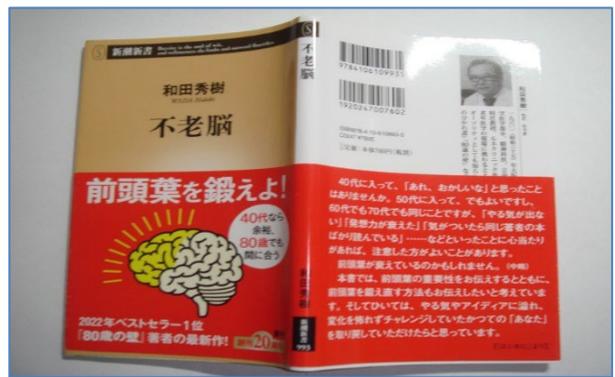
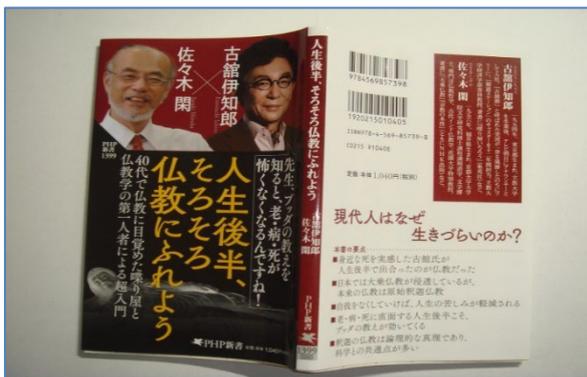
昨年は、この「会員のひとり言」に投稿させていただき、ありがとうございました。

本年3月には満82歳を迎える小生が、このような紙面をパソコンで作成しておりますが、元気の秘訣の1つと考えています。

お読みいただけている、あるいは、読んでいないどちらでも結構です。小生としては、この紙面を飾るためにネタを探し、文章を書き、写真を撮ることに生き甲斐を感じているのです・・・。

ですから、これは小生の活動記録であり、トキメいたこと・少しの成長？を自ら記録しておきたい故です。ご容赦ください。

そこで、今回は昨年読書した本の紹介をさせていただきます。未だ好奇心旺盛なところがあり、少しの努力を怠ることなく、新聞広告やら書店で偶然出くわした「本のタイトル」に興味を示し、ついつい購入してしまうのです。その後すぐに、近くの喫茶店に行って、1～2時間ほどコーヒーを味わいながら読書し至福の時となります。昨年、小生が読んだこれからの人生に参考となる・考えさせられる書物をここで紹介させて下さい。



なかなか面白いですよ。トキメキますよ！読書はいかがでしょう。できれば、そんな読後感をリアルで語り合う機会があればと考えています。

「生前活！アドバイザー」 兼 NPO法人高齢者・障がい者後見人の会 代表

09 【外弁慶・内弁慶・まるで無口・三者三様】—その2—

明るいシステム倶楽部 理事 宮崎 英二



—さて皆さんは、ミノリさん（以下、「ミ」という。）のご主人はなぜおばさんたちに対面したくないのか？ということをごどのように考えますか。

- B 「ひと言いうと3つくらいかえってくるから怖い(笑)」
- C 「以前にいやなことを言われて気分を害して、それをガマンしているから」

ミ 「おばさんたちのイヤな部分を見て、会いたくないと言っていたわ」

D 「共通の話題に入れないから」

A 「どう話をしたらいいのかわからない」

—ま、そういったことで、おばさんたちと距離が引き離されてきた過去の記憶があるからなのでしょうね。では、その距離を縮めるにはどうすればいいと思いますか。

A 「なるほど・・・こういう前提を積み重ねて謎解きをしていくのですね」

B 「このあたりからが問題の本質なのですね」

ミ 「おばさんたちをほめることでしょうか」

C 「おばさんたちをほめれば、みんながご主人に近づいてくるから、ご主人は面食らうかも」

D 「そうですね。それならご主人におばさんたちがほめていたと影ほめをする」

A 「そうすると糸口がほどけそう」

B 「そしておばさんたちにも、ご主人がほめていたと影ほめをしておくといいですよ」

ミ 「なんだか夫がニンマリしている顔が浮かんできそうです」

C 「おばさんたちも同じようにうれしそうな顔で近づいてくるでしょうね」

A 「なるほど、あっけなく謎解きができましたね」

B 「出来事だけを見て、この人の性格だからしょうがないと決めてかかったり、原因は何なのだろうかとか、過去のトラウマを解消するにはどうすればいいのかに焦点が当たってしましますが、誰もが『ほめてほしい、認めてほしい』と願っているところに着目することが名探偵になれるかどうかなのですね」

—そうですね。性格だから仕方がないとあきらめるのではなく、謎解きのカギはそんなところに潜んでいるのです。

A 「わー、これから私たちは性格なおしの名探偵にならなくっちゃ!!」

C 「私の性格もこうしてほめられたら、いやなところは簡単に変わりそうです」

B 「私達もこれからの幸福な人生のために、ほめ言葉ボキャブラリーを増やしておかなきゃいけないですね」

ミ 「名探偵の皆さんたちのお陰で、私と夫との関係だけでなく、おばさんたちとの関係もこれまでと全く違ったものになり、内も外も明るく楽しい性格になりそうです。ありがとうございます」

ヒューマニクス研究所／ハピネス心理学 代表